

## 【和歌山】形成外科への親しみをもっと和歌山で生み出したい-朝村真一・和歌山県立医科大学形成外科教授らに聞く◆Vol.2

2021年1月15日（金）配信 m3.com地域版

和歌山県で唯一の特定機能病院として高度な先進医療を提供する県立医科大学附属病院（和歌山市）。時代の変化や社会のニーズに合わせた医療を行うほか、県ドクターヘリコプターを運用し、山間部の多い紀伊半島全域をカバーする救急医療体制を維持している。2020年10月から形成外科が始めた「美容後遺症相談外来」について、形成外科教授の朝村真一氏と外来を担当する美容外科医の白川裕二氏に話を聞いた。（2020年12月2日インタビュー、計2回連載の2回目）

▼第1回はこちら

——形成外科では美容のほか、どのような疾患を取り扱っていますか。

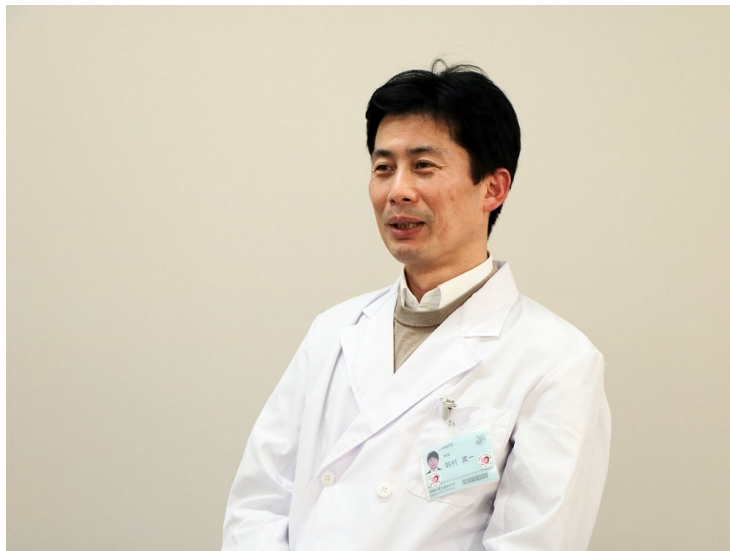
**朝村** 頭から手足の先（爪）まで、あらゆる体表にある傷跡や変形などの醜形を治し、より美しく機能的にするのが仕事ですから、先天異常、外傷、腫瘍などに関わるものが代表的ですが、診療対象は多岐に渡ります。特定の臓器や組織を担当しないため分かりづらいですが、体表に関わることならすべてに対応する外科医、と考えてもらえればと思います。

海外では形成外科医のことを「Surgeon's surgeon（外科医の中の外科医）」と呼ぶこともあります。ただ細かく縫うのではなく、患者さんが生きやすいように美しく縫う。こだわりを持って技術を積み、傷跡が分かりにくい手術を心がけています。当院内では外来のほか、外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科など多くの科と共同して診療にあたっています。「一緒に手術に入ってほしい」と声をかけてもらうことも多く、内容はさまざまですが手術件数は年間700件ほどになりました。

——この病院では形成外科の開設が5年前です。それまではどうされていたんですか。

**朝村** 外科、整形外科、皮膚科などそれぞれの科で切ったり縫ったりという処置をしていました。また当院の中では非常に新しい科ですので、未だに形成外科がなかった頃のなごりで「手にしこりがあるから整形外科だね」、「皮膚にできものがあるから皮膚科だね」というような流れが残っています。もちろん間違いではないのですが、機能や見た目にも最大限配慮する受付などで形成外科を選択肢に入れてもらえるようになるといいなと思っています。

当院の総合案内でも、傷跡について問い合わせが来たら「皮膚に関わることだから皮膚科へ」との判断をされてしまいがちです。これまで形成外科がなかったため皮膚科など各科の先生が頑張ってきた結果だと思うのですが、「できるだけ傷をきれいに縫ってもらいたい」「きれいに取ってもらいたい」という思いのある患者さんに対しては、形成でも対応できるよ、と。



和歌山県立医科大学形成外科教授 朝村真一氏

**白川** 実は和歌山県は、形成外科に対する親しみが地域の皆さんも開業医の皆さんも全国の中でも極めて低いエリアなんです。「形成不毛地帯」と呼ばれることもあるほどです。私は各所で勤務してきて、それを肌で感じましたし、県民の皆さんにもっと知っていただく必要があると思います。



美容外科医 白川裕二氏

——私は和歌山県民ですが、実は今回の取材までどういった場合に形成外科を受診すればいいのかが分かっていませんでした。

**朝村** そうでしょう！和歌山県内ではそう言われることが多いです。だから、私たちはこれから県内に形成外科の文化を構築していくという決意で、開設以来情報発信を含めてコツコツと活動してきました。ローカルで発行されているフリーペーパーに記事を載せたり、県内各地で講演活動や手術を行ったりもしています。患者さんを紹介いただいた先生にはお手紙を書くなどコミュニケーションを取るよう心がけています。

——形成外科が役割を果たせば、地域の皆さんにとってより良いということですね。

**朝村** そうです。和歌山では私たちの仕事が知られていないために、「縫わないといけないケガだから形成外科に行こう」「顔のケガは形成へ」「子どもの傷は形成できれいに縫ってもらいたい」というふうにはなかなか意識されない状況です。たぶん地域の開業医の皆さんも「この場合は形成に紹介しよう」とまだ思ってもらえていないのではないかと。

私たちが血液検査をして「糖尿病の可能性がある」と気づいたら、内科の先生に紹介しますよね。そのような場合と同じで、過去の傷跡が気になっている患者さんやあざや腫瘍で悩んでいる患者さんに出会ったり、顔や目立つ部位のケガの経過が心配になったりした場合は、形成外科に紹介してもらえるようになればと思っています。もっと知ってもらえるよう、これからもさまざまな形で情報発信をしていきます。

#### ◆朝村 真一（あさむら・しんいち）氏

和歌山県立医科大学形成外科教授。1995年久留米大学医学部卒業後、近畿大学医学部附属病院診療医を経て、2000年Northeastern Ohio University Colleges of Medicineにて組織工学の基礎研究に従事。2002年近畿大学医学部附属病院講師、2008年近畿大学医学部形成外科准教授。2015年から現職。

#### ◆白川 裕二（しらかわ・ゆうじ）氏

形成外科医・美容外科医和歌山県立医科大学卒業後、大阪大学医学部附属病院にて麻酔科・形成外科、その他関連病院にて臨床業務に従事。和歌山県立医科大学非常勤医師。独立行政法人地域医療推進機構大阪みなと中央病院美容医療センター医師。

【取材・文＝万谷 絵美（株式会社Crop）】

